

^v^"卒業生からの手紙^v^"



保健管理センター保健師
富家 喜美代

暮れも押し迫ったある日、保健室（保健管理センター農学部分室）あてに、ある卒業生から一通の手紙が届きました。

その手紙には、「在学中はお世話になりました。近況を報告しようと思いつつも今になってしまいました。」との文面から始まっていました。

元気で頑張っているとの近況報告の後、「これまでは、ずいぶんと色々なことがありました。けれど、今までにないくらい自分と向き合い、考えたり悩んだりした末、この仕事に就きました。今、大学時代を振り返ってみると、「○○○だけが目的になっていたな」と思います。」

そして、「いろいろ悩んだりもしましたが、今回は以前のように自分を見失うこともなく、うまく気晴らしをしてやり過ごすことが出来ました。このように気持ちをコントロールできるようになったのは、大学の○年間はあったからだと思います。自分にとって、あの（○○や進路、○○○○で悩みぬいた）苦しい時期があったからこそ、今の自分があると感じ、しっかりと今を生きています！」とありました。

それと、「以前から親しくしている2人の友人が、それぞれ当初とは違った道を歩み出しました。自分も以前とは違った道を進んでいます。そこでよく思うのは、どの道を選ぶかよりも、自分が選んだ方でどう頑張るかだということです。何を選んでも、どの道を行ったとしても、結局は自分の考え次第で世界も変わるし、自分も変わるのと思います。もし、進路で悩んでいる学生がいたら、この言葉をプレゼントしてあげてください。」

と結ばれていました。

この、卒業生からの手紙に書かれていたことに在学生や大学入学者の皆さんにも当てはまると思います。○○大学へ入りたかったが、香大へ来てしまったという方もきっとおられると思います。でも、どこの大学を卒業するかということよりも、自分が大学で何を学ぶか、どんな恩師や先輩、友人とめぐり合うかの方がもっと大切なのではないのでしょうか。要は、気の持ちようだという事です。

「悩みや苦しきも、それがあったからこそ、今の自分がある」との先輩のポジティブな物事の受け止め方や、体験に基づく先の言葉を学生の皆さん（特に就職や進学を控えて不安に思っている方）にお伝えしておきたいと思います。

でも、やっぱり不安で…という方は、いつでも気軽にホケカン（本部保健管理センターや各分室）をのぞいてみてください。少しはお役に立てることがあるかもわかりません。

byたそがれ保健師

追記

保健室担当者からこの卒業生への返信には、確か「○○さんは頑張りやさんだから、仕事は程々に頑張ってください。時々には息抜きをお忘れなく」というようなことを書き添えたことを付記しておきます。

^v^"